| 事業番号 | 1 |
|---|---|

# 地域女性活躍推進つながりサポート事業【鹿児島県姶良市】

| 個別事業費 | 500 千円 |
|---|---|
| 交付金額 | 338 千円 |

## 地域の実情と課題

本市の総人口はゆるやかな増加傾向にある中で、若年女性の転出者数が多く、30歳前後の女性の転入者数が多いことから、進学や就職で市外に転出し、子育て環境を求めて市内に転入するケースが多いと推測される。労働力率については出産、子育てにより離職するケースが多い状況がうかがえる。

本市の「男女共同参画社会についての市民意識調査」の結果によると、働く場における性別による処遇の違いや固定的な性別役割分担意識が根強く残っており、女性の活躍推進のためには事業所への積極的な働きかけが必要である。

令和6年度以降5年間にわたる「第3次姶良市男女共同参画基本計画（女性活躍推進計画と一体）」を策定し、誰もが個人としての能力が発揮できる就業環境の整備や、働く場における経営・方針決定過程への女性の参画拡大に取り組む。姶良市女性活躍推進協議会においては、官民一体となり市内事業所や市民への普及啓発の取組を進めている。

## 事業の特徴

女性の活躍を促進する基盤づくりを総合的に進めるため、経済、健康、生活全般に不安や孤独を抱える女性に対し、社会との絆・つながりを回復することを目指す。①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援、② 「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供、③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成を実施している。

人口微増傾向にある本市において、若年層の参加促進を図るべく集客力のある大型ショッピングセンターやSNSを活用した情報発信、周知に取り組んだ。②居場所の提供については、NPO法人等に再委託し、活動範囲を拡大した。③支援者養成のための研修においては、市男女共同参画推進室と連携し、女性が抱える問題について県や市の現状や課題を共有した。

## 事業の効果

生活上の困難や不安を抱える女性に対する居場所の提供や生活相談支援、問題の解消に向けた関係機関との連携等により、社会とのつながりを回復し、孤独・不安の解消につながる。支援者養成研修の実施により、相談支援を行っている支援者のスキルアップにつながる。

事業の効果は、相談者数、居場所づくり参加者数、支援者養成研修受講者数の実績、受講者アンケートで図る満足度等によっても検証する。

## 目的・目標

①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援（月2回）

市内在住で孤独・孤立により困難や不安を抱える女性に対し、相談会、生理用品を含む物資の無料配布を行った。

【相談者数】目標値：50人　実績値：4人

②「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供（月1回）

市内在住で孤独・孤立により困難や不安を抱える女性に対し、お互いの経験や思いを語り合い支え合う場所づくりを実施した。

【参加者数】実績値：76人

③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成（年1回）

主に女性を対象とした相談や支援を行っている支援者に対して、スキルアップのための研修を実施した。

【研修受講者数】目標値：50人　実績値：50人

相談者数は目標値を下回る結果となったが、研修受講者数は目標を達成しており、受講者アンケートは「大変参考になった」人が過半数を占め、知識の習得や支援の意識向上に役立った。

## 連携団体

連携団体：姶良市社会福祉協議会（本事業委託先）
社協が受託する事業（生活困窮者自立支援事業）との連携も行った。

## 今後の課題

女性相談の利用者数が目標値を達成していないため、来年度は開催日時を変更して実施する。また、事業の周知としてSNSによる発信を行っているが、市や女性活躍推進協議会などの関係機関を通じた情報提供にも取り組む。

本市においては女性活躍推進宣言企業の増加など、女性活躍推進への社会的気運の高まりが見られる。一方で、社会とのつながりが希薄な女性の生活上の問題は依然として存在する。相談支援の継続及び相談支援につながるような取り組みが必要である。

## 事業の概要

# 地域女性活躍推進つながりサポート事業
# （委託先：姶良市社会福祉協議会）

**①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援**

女性相談（毎月第1、第3土曜日 13:30～15:30） 24回実施 相談者数4人

市内在住で孤独・孤立により生活困難や不安を抱える女性に対し、生活相談支援を行った。相談内容は夫婦関係などの家庭の問題、生活困窮、将来への不安などが主となっている。相談内容に応じて行政の諸制度の案内、法律相談の紹介、社会福祉協議会の生活困窮者自立支援事業に引き継いだ。

**②「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供**

（毎月第3土曜日 13:30～15:30） 12回実施 参加者数76人

従来の茶話会形式よりも、体験講座やワークショップの回数を増やした。内容はボディケア講座、メイクアップ講座、更年期についての講座、多肉植物の寄せ植え教室、ヨガ教室、整理収納講座、食についての講座など。参加者は、相談窓口に来られた方のほか、社会福祉協議会のSNSを見て来られた方が増えている。

**③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成**

（1月16日、1月22日、1月27日、2月4日） 4部制で実施 受講者数50人

女性相談員、民生委員、市職員などの相談支援を受ける人が、女性を取り巻く現状を知り、性別に起因する生きづらさや困難に寄り添い相談を受けることができるよう研修を実施した。内容は、市における女性をめぐる課題と市の取り組み、性や生き方の多様性、アンコンシャス・バイアス、こころに寄り添うコミュニケーションについての講座など。

②居場所の提供

③支援者養成研修